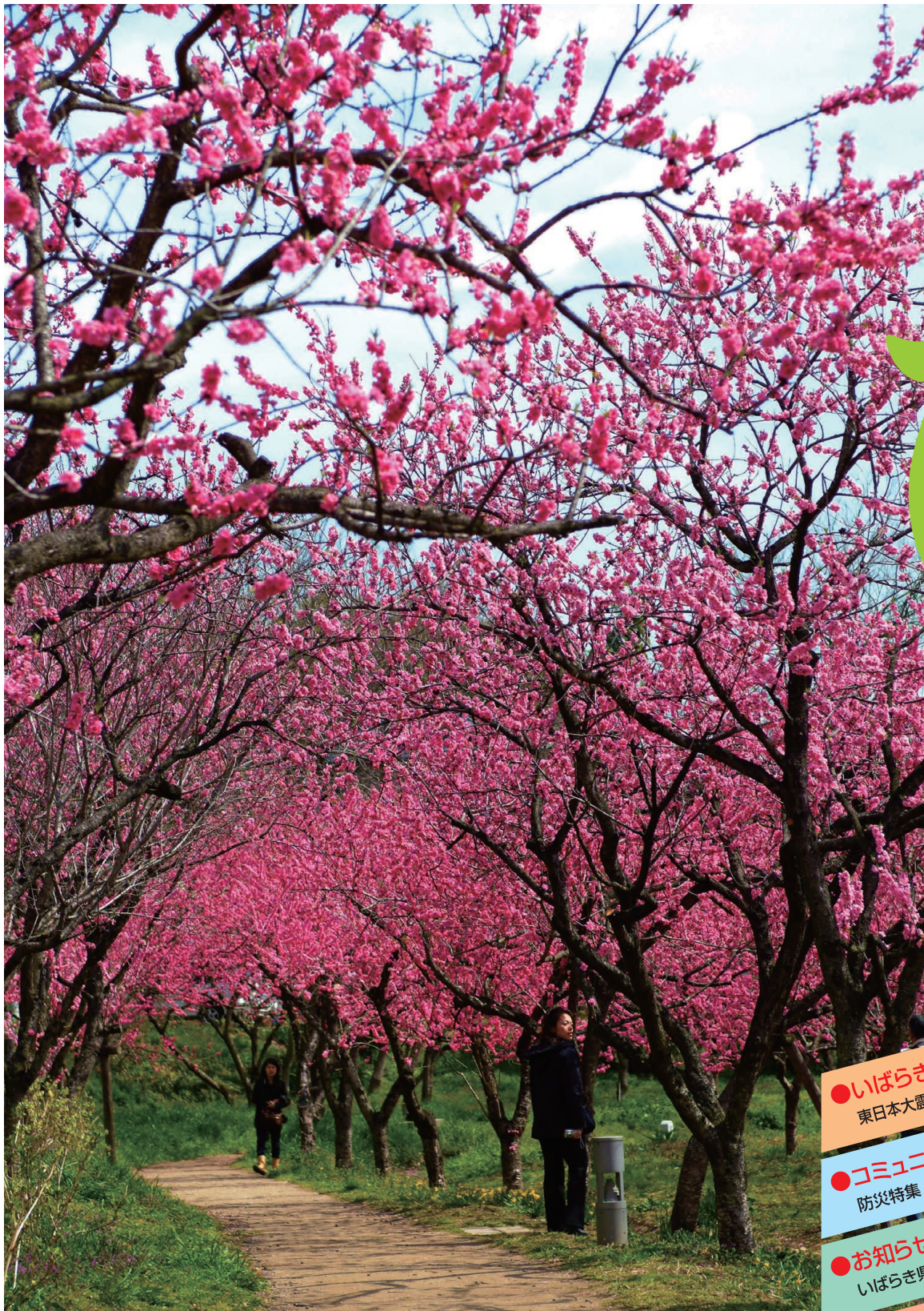




茨城県

3月号 平成24年3月1日
発行人 茨城県広報広聴課
〒310-8555 水戸市笠原町978 番6
TEL 029-301-2128
FAX 029-301-2168
TEL 029-301-1111(代表)

ひばり



古河桃まつり(3月20日～4月5日、古河総合公園)

- いばらきクロスアップ
東日本大震災から11年～復旧・復興への歩み～
- コミュニティいばらき
防災特集 地震・津波から身を守るためには
- お知らせひろば
いばらき県北うまかつまつり ほか
- トピックス
みんなで魅力ある地域づくりを ほか

春の足音が近づくこの季節、ぜひ桃まつりに出かけてみませんか。

春の観光名所となっています。

桃の花が咲く古河の桃まつりには、県内外から多くの観光客が集まり、春の観光名所となっています。

また桃の花は、古来から厄除けの力があると信じられ、子どもたちの健やかな成長を願う桃の節句にかかせない花となっています。

本県でも、約2千本の色鮮やかな桃の花が咲く古河の桃まつりには、県内外から多くの観光客が集まり、春の観光名所となっています。

春の訪れを告げる桃の花

桃の花は春の花として愛され、万葉集や古今和歌集などに数多く歌われており、中国においては、三国志演義の「桃園の誓い」や詩人陶淵明の「桃源郷」など、有名な小説や詩の題材にも用いられています。



茨城県知事
橋本 昌





津波の被害を受けた北茨城市ですが、大津漁港直営市場食堂では営業を再開し活気を取り戻しています。



A CLOSE-UP
IBARAKI

いばらき
クローズアップ

東日本大震災から1年 ～復旧・復興への歩み～

東日本大震災の発生から1年を迎えます。未曾有の大震災は各地に大きな被害をもたらしました。震災といまだ続く原発事故への対応から一歩進み、県民生活の安全・安心の確保に向けて全力で取り組んでまいります。

液状化の被害を受けた潮来市では、にぎわいを取り戻した「道の駅いたこ」で多くの人が集うようになりました。



震災復興とこれからの「いばらき」

■ 東日本大震災発生

平成23年3月11日、14時46分頃、マグニチュード9.0の地震が発生しました。

本県も甚大な被害を受け、死者・行方不明者25名に加え、被害家屋約20万戸、被害総額は約2兆5千億円に上ると推計されています。

■ 復旧への取り組み

現在（2月26日）、道路などの基盤施設の復旧は着実に進んでおり、被害の大きかった港湾や漁港については、一部の施設を除き利用が可能となっております。学校などの教育施設においても、早期の復旧に取り組んでいるところです。

また、中小企業や農林水産業関連施設、公的医療施設などの復旧事業の支援や、被災者向けの雇用対策なども行っています。

さらに、「東日本大震災復興基金」を活用し、住家被害を受けた方が持ち家の補修などを行う場合に借り入れた利子が一部助成するとともに、中小企業者が「東日本大震災復興緊急融資」を利用した場合に、利子の一部を助成する制度を創設するなどして、引き続き復興に向けた取り組みを進めていきます。

■ 福島第一原発事故への対応

事故後、直ちに環境放射線の監視体制を強化し、現在も24時間体制で測定を続けています。

安全・安心な農林水産物を提供するため、放射性物質検査を実施し、その結果を速やかに公表するなどの情報提供や、風評被害の払拭のため消費者へのPRを推進しています。

また、観光面においては、県内観光施設などの入込客数が、前年度を大きく下回っており、主なホテルや旅館においても、極めて厳しい状況が続いています。

このようなことから、東京銀座に本県の情報発信拠点として「黄門マルシェ」を7月にオープンし、旬の農林水産物の展示販売やイベントの開催、県内観光地のPRなどを行っています。

さらに、旅行会社などに無償で観光バスを提供し、首都圏などから団体を誘致する「いばらき周遊観光促進事業」を実施したところ、予定以上の申し込みがあり効果を上げています。

■ 復興に向けて

今後とも県では、県民の皆様が一日も早く安全・安心に暮らせるように、また、産業活動ができるだけ早く立ち直れるように、被災者の生活の再建や産業活動の復興、再生を支援していきます。

復旧・復興に向けて

ライフライン

	被災当初	復旧状況
道路	県管理道路の通行止め 133ヶ所	県管理道路の通行止め 4ヶ所(2/26)
鉄道	3/11は全線運行されず、翌日から一部(常磐線 上野～我孫子、綾瀬～取手間等)で運転再開	鹿島臨海鉄道大洗鹿島線全線開通(7/12) ひたちなか海浜鉄道全線開通(7/23)
電気	停電 43市町村 866,000戸	全て送電完了(3/18)
水道	全域断水 28市町村 一部断水 11市町	全て給水完了 (5/7:神栖市が全面復旧)



復旧工事前



復旧工事後

風評被害対策(農林水産)

県内外で茨城産の農産物を応援するキャンペーンを実施し、風評被害による買い控えや価格低迷などで苦しむ茨城の生産者を応援しています。JAや生産者自らが産直販売により、消費者の皆さんに安全性を呼び掛ける取り組みも支援しています。県では今後も、本県農林水産物の安全性を積極的にPRしてまいります。

【主な取り組み】

- 茨城県アンテナショップ「黄門マルシェ」を東京にオープン
- 風評被害払拭キャンペーン
- 茨城県産農産物及び加工品のPR販売
- いばらき食彩フェア2011
- 茨城メロンキャンペーン in 神戸
- がんばれ茨城 野菜販売キャンペーン
- いばらき秋の収穫祭 など



風評被害払拭
キャンペーンの様子

福島第一原発事故への対応

- 大気中の放射線量を測定(全市町村)
- 農林水産物の放射性物質検査数
安全・安心な農林水産物等の供給のため、定期的な検査を実施
191品目 12,762検体(1/31現在)
- 水道水の水質モニタリングを実施
- 一般廃棄物焼却施設における焼却灰の放射性物質の測定
- 下水汚泥等の放射性物質の測定
- 県立学校の空間線量測定(122校)
- 青少年教育施設、博物館、運動公園、生涯学習センターなどにおける放射線量測定(17施設)
- 県営都市公園における放射線の空間線量測定(19公園)
- 市町村への簡易放射線測定器の配布と取り扱いに関する説明会を実施
- 簡易除染の手引きの作成
- 放射線の健康影響に係る講演会を開催(市町村と共催)
- 放射線アドバイザー派遣を実施



※測定結果については、県のホームページでお知らせしています。

<http://www.pref.ibaraki.jp/>

放射能測定の様子

風評被害対策(観光)

観光施設や宿泊施設などにおいて直接の被害が生じただけでなく、風評被害や旅行自粛により、宿泊のキャンセル、イベントの中止が相次いで発生し、観光客が著しく減少しました。

大幅に落ち込んだ観光客・宿泊客を早期に回復し、震災発生前よりも魅力的な観光地づくりを推進するため、市町村や観光関連団体と連携を図りながら、今後も集客対策に取り組んでいきます。

【主な取り組み】

- 旅行会社等に無償で観光バスを提供する
「いばらき周遊観光促進事業」
- 県民を対象とした「いばらき再発見！秋の宿泊キャンペーン」
- 「茨城グルメまつり」の開催
- 観光いばらきから版の定期的な発行
- 県内外での観光キャンペーンや物産展
- 山手線・京浜東北線等でのトレインチャンネル
- 外国人観光客に向けた情報発信や海外メディア招へい



袋田の滝にて
(中国旅行者・
メディア招へい事業)

震災後1年を迎えてのおもな復興・風評被害払拭イベント

- ◆ 茨城スイーツ・グルメフェア&キャンドルナイト
3月9日(金)・10日(土)
千波湖畔「桜田門外ノ変」オープンロケセット(水戸市)
※キャンドルナイトは10日(土)のみ(偕楽園公園)
☎県農業政策課 ☎029(301)3828

- ◆ 東日本大震災追悼・復興イベント
3月10日(土)・11日(日) 笠間ショッピングセンターほか(笠間市)
☎笠間市総務課 ☎0296(77)1101

- ◆ 北茨城復興祭 ～100年先への第一歩～
3月25日(日) 五浦観光ホテル(北茨城市)
☎北茨城市商工会 ☎0293(42)2511

- ◆ 震災復興イベント2012 稲敷チューリップまつり
4月15日(日) 水郷筑波国定公園浮島園地(稲敷市)
☎稲敷市商工観光課 ☎029(892)2000

※このほか県内各地でも避難訓練やイベントなどが行われます。詳しくは県のホームページをご覧ください。<http://www.pref.ibaraki.jp/>

県では、3月11日に東日本大震災1周年追悼・復興祈念式典を行います。



東日本大震災で一夜を明かす人々



自衛隊による給水活動

防災特集 地震・津波から身を守るためには

防災の重要性は誰もが知っています。でも、実際どうすれば良いのかは意外に知られていません。大震災から1年の節目に考えてみませんか。



女性特派員:佐藤有紀



防災訓練の様子



災害には 地域のつながりが大切

東日本大震災から、もうすぐ一年がたちます。震災の体験を振り返ってみました。

○かつてない地震の恐怖

震災が起きた日、私も今まで経験したことのない激しい揺れに襲われました。私は、地震の恐怖で全く体が動かず、外に出ることすらできませんでした。

○近所の方の呼びかけで一安心

余震が続く中、外から「大丈夫?」と叫ぶ声がありました。近所の方の声を聞いて地震の恐怖が和らぎ、外へ出ることができました。

○家族の絆、地域のつながり

地震の起きたときも、その後の停電や水不足など不安定な生活も、家族や地域の人たちと助け合って、乗り切ることができました。日頃から、家族や地域の人たちと交流を深めておくことが大切だと改めて思いました。

いざ災害が起こったら

では、災害に対してどのような対処すればいいのでしょうか。

県の防災情報マネージャー指導員の森田さんに地震・津波の際の避難方法などについてお聞きしました。

Q まず地震が起きたら、どのように対処すればいいのですか。

A 一般的には、揺れがおさまったときにできるだけ早く建物から外に出ることです。その際には頭上や周囲の確認も必要です。

Q 今回の震災では、津波の被害が大きかったですが、身を守るためにはどのようなようにすればよいですか。

A 地震の揺れを感じたり、テレビなどで津波が来ることを知ったら、とりあえず高いところに徒歩で避難することです。

Q 災害が起きたとき、最も重要なことはなんでしょうか。

A ラジオなどを使って正確な情報を得ることや、普段から避難方法などを家族間で確認しておくことです。

Q 今回の震災で、地域での防災活動が大切だと実感しましたが。

A 東日本大震災を契機に、防災活動に関する意識が高まっています。まず、地域の方々が自主防災組織を作るなど主体的に行動を起こすことが大切です。

Q 最後に一言お願いします。

A 災害が起きたら、自分の命を自分で守ること。自分の命があつてこそ他者を助けられるのです。

取材を通じて災害から我が身を守るために、状況に応じた判断と日頃の基本的な備えが大切だと思いました。

地震・津波から身を守るためには

●地震が起きたら

- 1 自分の身の安全を図る（机の下に入る）
- 2 火の始末をする（揺れがおさまってから）
- 3 非常脱出口を確保する
- 4 火が出たらすぐ消火する（二次災害の防止）
- 5 正しい情報を手に入れる
- 6 あわてて外に飛びださない

●津波が起きたら

津波からは逃げる！

- 1 まず高いところに逃げる
- 2 津波注・警報や避難勧告を待たない
- 3 徒歩で逃げて危険が去るまで待つ
- 4 港や海岸・川岸には近づかない



●自主防災組織を結成しよう!!

自主防災組織とは…

- 自分たちの地域で、自分たちができる防災活動を行うために結成する組織です。

自主防災組織の必要性とは…

- 地域でできること（救助・初期消火など）をすることで、地域の被害を軽減することができます。

自主防災組織の活動とは…

- 地域の危険箇所などを書き入れた防災マップを作ることが有効です。
- 自治会で実施している年間行事などと併せて実施することが有効です。



●日頃から備えましょう

家具の転倒防止・自宅の耐震化

- L字金具などで家具を固定
- 自宅の耐震診断

家庭での避難の確認

- 家族の役割、避難の場所・道順、家族との連絡方法などの確認



非常用品を備える

- 水…●1人1日3リットルが目安（3日分）
 - 生活用水も十分に確保
- 食糧…●最低3日分を用意
 - ビスケットや缶入りパンなど火を使わないものを用意
- 情報…●携帯ラジオ・予備電池の用意
- 照明…●懐中電灯を家族1人に1個
- 燃料…●卓上用カセットコンロの準備
 - 自動車の燃料は余裕をもって給油



県の防災への対応

県では、県民に広く防災情報を伝えるため、「防災・危機管理ポータルサイト」と「防災情報メール」を提供しています。

防災・危機管理ポータルサイト

気象情報や茨城県の発表する防災情報などを集約したホームページです。

「防災・危機管理ポータルサイト」で検索



防災情報メール

ご登録いただいた方へ、携帯メールにて気象情報や避難情報などを提供します。

- 提供情報**
- 気象情報…●警報（大雨・洪水・暴風・波浪・高潮）
 - 土砂災害警戒情報
 - 竜巻注意情報
 - 地震（震度4以上）・津波情報
 - 避難情報…●避難準備情報
 - 避難勧告
 - 避難指示

携帯から

- 登録方法**
- 1 右記のQRコードを読み込み登録 →
 - 2 <http://mobile.pref.ibaraki.jp> 「災害・防災情報」→「防災情報メール」から登録
- ※登録料・情報料は無料ですが、通信に要する費用は利用者の負担となります。

防災情報「レッドページ」をご存じですか？

簡単に防災情報を確認できるよう、電話帳（ハローページ）の冒頭部分に防災情報（避難場所一覧・非常持出品・緊急ダイヤル等）を掲載しています。



茨城県津波浸水実績図

ホームページ上で2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波による浸水範囲を示した浸水実績図を公開しています。

「茨城県河川課」で検索

県内の防災活動拠点

災害時の救援物資の輸送・集積・配分などの拠点として、県西地区防災活動拠点（県西総合公園内）等に食糧、生活必需品などを備蓄しています。

お知らせ ひろば

問……問い合わせ先

申……申し込み先

HP……ホームページ



催し物 お出かけください

いばらき県北うまかつまつり

県北地域の直売所などが水戸に集合して、新鮮な農林水産物や加工品を紹介・販売します。また、抽選により特産品などをプレゼント！ぜひご来場ください。

日時▶3/3(土) 9時～15時30分

会場▶『桜田門外ノ変』オープンロケセット隣
(水戸市千波湖畔)



問 県農村環境課

☎029(301)4264 FAX4269

元気いばらき就職面接会(水戸会場)

若者(学生を除く)や離職者など仕事をお探しの方を対象に、就職面接会を開催します。

期日▶3/21(水)

会場▶水戸合同庁舎(水戸市)

問 県労働政策課

☎029(301)3645 FAX3649

HP「平成23年度元気いばらき就職面接会」で検索



募集 参加してみませんか

高齢者はつつ百人委員会

高齢者の健康・生きがいづくり活動を企画・実施する「高齢者はつつ百人委員会」の委員を募集しています。

対象▶県内在住のおおむね60歳以上の方で、委員会の活動に出席できる方

任期▶4月～平成26年3月

締め切り▶3/9(金)

問・申 県長寿福祉課

☎029(301)3326 FAX3349

茨城県警察官採用試験(第1回)

第1次試験日▶5/13(日)

採用予定人数▶警察官A

(男性87名程度、女性18名程度)

締め切り▶郵送・持参 4/18(水)

[当日消印有効]

インターネット 4/16(月) 17時

詳しくは、県警察本部ホームページ、県内各警察署または下記まで。

問 県警察本部警務課採用係

☎0120-314058(サイヨゴ・ハッピー)

案内 あんなことこんなこと

在宅歯科医療連携室

ご自宅で介護や療養をしている方の、訪問歯科診療に関する相談をお受けしています。(無料)

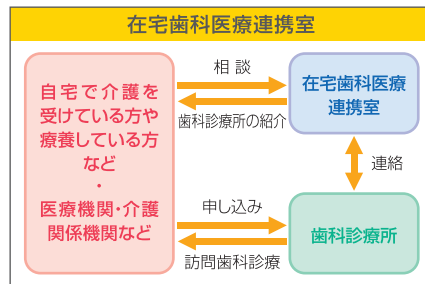
問・申 在宅歯科医療連携室

(県歯科医師会館内)

☎029(215)2176

受付時間▶9時～17時(月～金)

9時～正午(土)



問 県保健予防課

☎029(301)3229 FAX3239

「自動車の登録」は適正に!

引っ越しなどの際、住民票を変更しても、車検証に登録された住所は変更されません。転居した場合や持ち主が変わった場合などは、必ず運輸支局で登録手続きを行ってください。この手続きを怠ると道路運送車両法の規定により罰金(50万円以下)を科せられることもあります。

※自動車税は毎年4月1日の登録に基づき課税するため、登録は適正をお願いします。

問 茨城運輸支局(登録手続きに関すること)

☎050(5540)2017

問 県税務課(自動車税に関すること)

☎029(301)2429 FAX2448

HP「自動車検査・登録ガイド」で検索

3月は自殺防止月間です

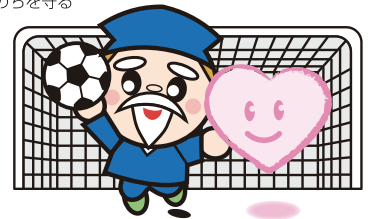
つながる“わ”・ささえる“わ”茨城いのちの絆キャンペーン実施中です。「いばらきこころのホットライン」では、こころの健康などに関する相談をお受けしています。周囲で悩みを抱えている方に紹介をお願いします。

3月まで▶☎0120(236)556

4月以降▶☎029(244)0556(平日)

☎0120(236)556(土日)

いのちを守る



問 県障害福祉課

☎029(301)3368 FAX3371

シベリア戦後強制抑留者の皆さまへ

特別給付金の請求期限が迫っています。

請求期限▶3/31(土)

対象者▶平成22年6月16日にご存命の方またはその日以降に亡くなられた方の相続人

問(独)平和祈念事業特別基金

☎0570(059)204(ナビダイヤル)

問 県長寿福祉課

☎029(301)3337 FAX3318

おでかけガイド



県天心記念五浦美術館

特別展示「甦る五浦 —受け継がれし天心のこころ—」 3月2日(金)～4月8日(日)

東日本大震災震災から1年が過ぎ、今年の春に六角堂が再建されるのを記念して開催となる本展覧会は、天心の掲げた理念のもと日本画の発展に尽くした横山大観から現代の平山郁夫まで、五浦にゆかりの深い日本美術院の作家たちが描いた日本画の名品を中心に展示します。

北茨城市大津町椿2083
☎0293(46)5311 ㊟5711

県陶芸美術館

魅惑の北欧アール・ヌーヴォー 塩川コレクション ロイヤル コペンハーゲン ビング オー グレンダール展 3月18日(日)まで

日本でも知名度の高いデンマークの「ロイヤル コペンハーゲン」とともに、かつてそれと人気を二分した「ビング オー グレンダール」の19世紀末から20世紀初頭に制作されたアール・ヌーヴォー磁器を展示します。

笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
☎0296(70)0011 ㊟0012

県近代美術館

小川芋銭展—震災後の眼で、いま— 3月17日(土)～5月20日(日)

牛久の日本画家、小川芋銭の代表作約180点を、前後半で入れ替えて紹介します。近代化の中で失われていった自然と人間との関わりを思いを廻らす展覧会です。

水戸市千波町東久保666の1
☎029(243)5111 ㊟9992

県立歴史館

特別展 肖像画の魅力

—歴史を見つめた眼差し—

3月20日(火)まで

歴史上の人物をイメージする肖像画。歴史を見つめたその姿が描かれた目的、描き方などについて紹介します。

—橋徳川家記念室「雛と人形」

3月11日(日)まで

水戸市緑町2の1の15
☎029(225)4425 ㊟(228)4277

県自然博物館

第54回企画展「植物たちのSOS —レッドデータブックからの警告—」

3月10日(土)～6月10日(日)

豊かな植物相に囲まれている日本。しかし近年、環境の変化などにより、多くの植物が絶滅の危機に直面しているといわれています。この企画展では、絶滅危惧植物のおかれた現状や、その保全に向けての取組を紹介し、植物とわたしたちの共通の未来について考えます。

坂東市大崎700
☎0297(38)2000 ㊟1999

県つくば美術館

個展やグループ展などを行っています

つくば市吾妻2の8
☎029(856)3711 ㊟3358

県立図書館

3月4日(日)13:00～14:10

…県立図書館で見て!調べて!あなたも虫博士!
「ナナホシテントウ」

3月7日(水)18:00～19:57

…イブニングシアター「私の頭の中の消しゴム」

3月10日(土)15:00～16:00

…三の丸寄席「新人王決定戦」

3月10日(土)・25日(日)10:00～16:20

…起業 経営無料相談会(最終回は15:20～)

3月11日(日)13:00～14:30

…ライブラリーセミナー名作を楽しむ会

「宮澤賢治」

3月17日(土)14:00～16:00

…放送大学ライブラリー講演会

「世界の食料・水・エネルギーの将来」

3月24日(土)13:30～16:07

…ライブラリーシアター

「ハリネズミと炎のコブレット」

水戸市三の丸1の5の38

☎029(221)5569 ㊟(228)3583

■開館時間/火～金9:00～20:00 土日祝9:00～17:00

■3月の休館日(5、12、19、26、31日)

美術館・博物館・歴史館の利用案内

(県立図書館は除く)

●各館の開館時間/午前9時半～午後5時(入館は午後4時半まで) ●月曜休館(祝日の場合はその翌日) ●満70歳以上の方(健康保険証、運転免許証などを持参してください)、障害者手帳等をお持ちの方と未就学児は入館無料。
※歴史館では高校生以下は入館無料。

各施設については [ひばり おでかけガイド](#) [検索](#)

平成24年度 茨城県職員等採用試験のお知らせ

茨城県人事委員会事務局 ☎029(301)5549 ㊟5559 茨城県人事委員会 [検索](#)

試験区分	受験資格	案内・申込書記布開始日	申込受付期間	第1次試験日	
茨城県職員採用試験	上級	次のいずれかに該当する人 ①昭和58年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人 ②平成3年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成25年3月31日までに卒業見込みの人または人事委員会がこれと同等と認める人	5月1日(火)	5月7日(月)～5月24日(木)	6月24日(日)
	中級	昭和61年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人	6月29日(金)	8月7日(火)～8月24日(金)	9月23日(日)
	初級	平成3年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人			
市町村立小中学校職員採用試験	中級	昭和61年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人	6月29日(金)	8月7日(火)～8月24日(金)	9月23日(日)
	初級	平成3年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人			
茨城県警察官採用試験	A	昭和58年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成25年3月31日までに卒業見込みの人または人事委員会がこれと同等と認める人	第1回 2月21日(火)	2月21日(火)～4月18日(水)	5月13日(日)
	B	昭和58年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人で、警察官Aの受験資格に該当しない人	第2回 7月2日(月)	7月2日(月)～8月15日(水)	9月16日(日)

広告募集中!

県の広報紙へ
広告を掲載しませんか?

県では、県政情報紙「ひばり」& 県民グラフ誌「フォトいばらき」に広告掲載される方を募集しています。「ひばり」は毎月、「フォトいばらき」は年4回(6・9・1・3月)発行しています。



詳しくは、県広報広聴課まで

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

☎029(301)2128 ㊟029(301)2168

<http://www.pref.ibaraki.jp/ad/magazine.html>

トピックス

1月18日 水戸市

みんなで魅力ある地域づくりを



地域の活性化や、地域づくりに向けた取り組みの一層の促進を目的とした「いばらき地域づくりフォーラム」が県庁で開催されました。俳優の地井武男氏による基調講演や、県内各地の先進的な事例発表が行われ、集まった多くの方々がこれからの地域づくりのあり方などについて考えました。

1月28日 水戸市

いばらきエコライフ・フォーラム

環境保全に対する関心と理解を深めるためのフォーラムが、県総合福祉会館で開催されました。地球温暖化対策や節電に関する講演、事例発表のほか、地球温暖化防止活動推進員によるパネル発表、緑のカーテンを題材にした園児の絵の展示などが多くの来場者の注目を集めました。



2月7日 茨城町

先輩からのメッセージ



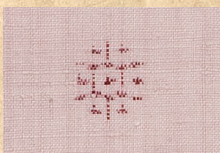
元レスリング選手で、ロサンゼルス・オリンピック金メダリストの富山英明さんが、母校の茨城町立明光中学校で講演を行いました。富山さんは、自分の夢に向かって努力し続けることの大切さや素晴らしさを語り、つらいことがあっても頑張してほしいと後輩たちにエールを送りました。



桃の節句と雛人形 「桂の雛人形」



結城紬の雛人形



雛人形に使われた雪華の文様

3月3日は、女の子の健やかな成長を願う桃の節句。春の訪れを感じるこの行事は、家族みんなの楽しみでもありますね。

今回は、「桂の雛人形」を手がける、人形作家の小佐畑^{こさはた}さんを取材しました。小佐畑さんは、県の伝統工芸品としての伝統を踏まえ、斬新で個性的な人形作りを行っています。

なかでも注目は、結城紬の装束を着たお内裏様^{としつら}とお雛様です。結城紬の装束には、古河の殿さまである土井利位公が雪華と命名した雪の結晶の文様をあしらうこだわりぶり。本県が誇る素晴らしい伝統工芸品などを、積極的に取り入れています。

これからの抱負を小佐畑さんに伺うと、「水戸黒と呼ばれる水戸藩の伝統的な黒色と県内の良質な漆を使った雛人形を製作したい」と語ってくれました。本県の魅力あふれる雛人形が、これからも楽しみです。
(いばらき女性特派員:石崎 五十鈴)

〈取材協力〉◎桂の雛人形(有)桂雛【茨城県郷土工芸品】
東茨城郡城里町阿波山1186
☎029 (289) 3246

3月の広報広聴案内

3月のテレビ放送

【ライブいばらき『とれたてワイドいばらき』内で放送】

NHK県域デジタル 毎週木曜日(午前11:30~11:54のうち6分間)
県や市町村からのお知らせや生活・イベントなどの情報を県庁や合同庁舎から中継で紹介します。

【磯山さやかさんの旬刊! いばらき『いちい散歩』内で放送】

テレビ朝日 毎週金曜日(午前10:50頃 2分30秒間) 毎朝(午前5:50~6:00の間) ※ダイジェスト版CM
いばらき大使の磯山さやかさんが県内の観光スポットなどを歩きつつ茨城の知られざる魅力を紹介します。
3月 2日 水戸の梅まつり①(水戸市) 3月23日 古河桃まつり(古河市)
3月 9日 水戸の梅まつり②(水戸市) 3月30日 日立さくらまつり(日立市)
3月16日 いちご(石岡市など)

※放送内容は変更される場合があります。

ホームページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/>

県政・ホームページなどのお問い合わせ・ご意見・ご提案は [✉email@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:email@pref.ibaraki.lg.jp)

ツイッター

[@ibaraki_kouhou](https://twitter.com/ibaraki_kouhou)

県の情報を発信しています。フォローをお願いします。

県政についての意見・要望などは

県民相談センター(県庁舎3階) ☎029 (301) 2147 ㊟029 (301) 2169
または、次の地方県民相談センターへ
常陸太田合同庁舎内 ☎0294 (80) 3322 鉾田合同庁舎内 ☎0291 (33) 6123
土浦合同庁舎内 ☎029 (822) 7026 筑西合同庁舎内 ☎0296 (24) 9074

※法律相談(電話要予約)は、県庁舎3階の県民相談センターで受け付けています。

次回「ひばり」4月号の新聞折り込みは3月31日(土)です。